

定期テスト

11月8日（火）に5教科の期末テストがありました。多くの学校では、中間テストや期末テストなどの定期テストを実施しています。この方法だと、同じ日に4教科から5教科のテストを行うようになります。そのため、テスト前には約2週間にわたり、たくさんの時間を使って学習するようになります。

1回の定期テストに対しては、約2週間の取組となりますが、高校入試に関しては、約1年半にわたる取組となります。よく受験勉強と言いますが、その中身は中学1年生からの復習です。数学などは、小学校の算数にまでさかのぼっての復習が必要な場合もあります。中学3年生の内容は、今、そのときに理解しておかないと間に合わなくなります。

そうであれば、定期テストが終わった後に、できなかった問題を中心に復習しておいた方がいいのではないのでしょうか。テストは、それに向けての学習は大切ですが、終わった後の学習も重要なのです。後でやろうとすると、結局、受験勉強でやるべきことを増やしていることとなります。

今までの定期テストの問題用紙と解答用紙は取ってありますか。定期テスト専用ファイルを用意してもいいでしょう。受験勉強の一つとして、中学1年生の最初の定期テストから、もう一度解いてみるという人もいます。

勉強にコツのようなものがあるとすると、“繰り返す”ではないのでしょうか。学習内容は、一度で理解できるものばかりではありません。わからないものは、繰り返し取り組んで、わかるようにする、できるようにすることが重要です。そう考えると、スポーツだけでなく勉強も、負けず嫌いの方がいいのかもしれない。わかるまでやる、できるまでやるといった強い意志がある人は受験勉強で力を発揮できるでしょう。

定期テストで約2週間、高校入試だと約1年以上もの期間にわたって努力を続けるのは容易なことではありません。好きな教科や得意な教科があれば、それを軸に自分の勉強を組み立てていく方法もあります。

それがむずかしければ、定期テストをきっかけにするのがお勧めです。定期テストは、自分の取組を変えるチャンスです。点数や順番も大切ですが、自分の学習方法を見直したり、テスト後の復習に力を入れたりすることは、もっと重要なことです。すべては、受験勉強すなわち高校入試につながっていきます。